

112 学年度第一学期ユーラシア財団 (from Asia) 国際講座
「アジア共同体：東アジア学の構築と変容」シリーズ講座 (10)
テーマ：美德倫理学：西田幾太郎の観点から

林永強 教授 (第八講座 / 要約)

2023.11.16

この講座では、西田幾多郎 (1870-1945) の視点から美德倫理学を考察し、倫理学の特徴や西田倫理学と美德倫理学の関連性を主に紹介します。まず、1.功利主義、2.義務論、3.美德倫理学などの異なる観点から、美德の内在的特色：外部の物事や行動に頼らずに (美德を) 得ることができず、外在的特色：外部の規範 (幸福と苦痛) を行動の基準 (利益効果)、外在の規範 (経験+理性) で内部の善意志 (義務) を実現します。さらに、性格は生まれつきのものであり、内在的で外部的ではなく、内在的なものは人の本質や傾向であり、内在がなければ人ではないという概念を分析します。

1. 人類の惻隱の心

人間の本質や傾向から行動へと展開することは、性格の発揮です。行動者の本質は行為の善悪や良い人としての在り方に注目することです。良い人になることを目指すのではなく、どのような行為を人類が実践すべきだということを目指しています。『孟子』(公孫丑上) の引用に、「今、人乍^{たちま}ち孺子の將に井に入らんとするを見れば、皆^{じゅつてきそくいん}怵^{おそ}惕^{おそ}惻隱の心有り。交^あはりを孺子の父母に内^いる所以に非^{あら}ざるなり。譽^うれを郷党朋友に要^{もと}むる所以に非^{あら}ざるなり。其^この聲^こを惡^{にく}みて然^{しか}するに非^{あら}ざるなり。是^{これ}に由^よりて之^{これ}を觀^みれば、惻隱の心無^なきは、人に非^{あら}ざるなり。」とあります。なぜ子供が危険にさらされるのを見ると、人間は惻隱の心を抱くのか、惻隱の心とは何かを説明しています。それは外部的な要因 (利益効果) ではなく、自発で道徳的な感情です。「乍見孺子將入於井、皆有怵惕惻隱之心」は自発的な行為であると述べています。

2. 美德倫理学の特徴

美德倫理学 (virtue ethics) の特徴とは、1. 美德倫理学、2. 徳行倫理学、3. 徳性倫理学を含み、翻訳レベルの問題にも触れます。林教授は古代ギリシャの哲学者アリストテレス (BC 384-322) の言葉を引用しています。「virtue は品格であり、品格は中立的であり、良い品格は virtue、すなわち美德であるが、悪い品格もあり、すなわち vice 悪徳である。品格は人の内心状態であり、外在の行為ではない。したがって、それを徳行と呼ぶことは明らかに問題がある」と述べており、徳行倫理学の真意を解釈しています。最後に、アリストテレスの哲学の動機は驚きと理性であり、西田幾多郎の哲学の動機は悲哀と感情であることを比較し、両者の思想上の異同を分析しています。

中国語まとめ 徐興慶

日本語訳 陳順益

2023.11.27